

2. みやぎ型管理運営方式について_行政へのチェック



行政チェック

▶ **Q01** — 20年間約3000億円にも及ぶ事業であり県民の命に関わる重要な事業である**みやぎ型管理運営方式**について質問しました。県民そして受水自治体にもっと丁寧に説明すべきで拙速の感が否めない状況なので知事の所見を伺いました。

▶ **A01** — **市町村長を直接訪問**して説明を行うと共に、情報共有を図り優先交渉権者選定後には水質管理や緊急時の対応手順等に関する具体的な考え方を説明したとのことでした。

▶ **Q02** — 企業独自のシステムなどの導入で契約期間終了後**他の事業者の参入が難しくなり費用の上昇が懸念**されると思うがどうなのか知事の所見を伺いました。

▶ **A02** — OM会社の存続や独自設備の導入が競争を妨げるような優位性はなく**費用の上昇を招くことはない**と考えているとの見解でした。

▶ **Q03** — 下請けを担ってきた**地元企業への優先発注の履行確認**と**下請け業者に無理な金額での発注防止策**はどうなるのか知事の所見を伺いました。

▶ **A03** — **地元企業を優先**して活用する計画となっており、下請け契約の不当に低い金額での契約については**是正をもとめていく**との回答でした。



▶▶▶
本会議一般質問はこちらから

県側の回答
Answer

県政の課題に対する取り組みを紹介します。

あれから10年郷土はまだ戻らない



1. 福島県飯館村 視察及び勉強会

村全体の約80%が2021年現在も未除染の現実。帰村政策として多額な費用を投じて小中一貫校を建設し対策を講じているが帰村が停滞しているとのことでした。小規模分散型の太陽光発電所の事業の取組で事業や雇用創出と地域還元等の復興の話しを聞きました。とても勉強になった視察でした。

飯館電力の千葉さんと共に



視察で気がついたこと —コミュニティをもとに戻す—



県立富岡高校、「復高」を望んで早くも10年が経ちました。少し荒れた校舎を見た時にここにあった学生の活気も一緒に奪っていったのだと痛感しました。また若い世代が戻ってくることを願うばかりです。



双葉町を移動しているとある宅地が目に入りました。建物は当然老朽化が進み、庭は雑草がいっぱい。そんな宅地の片隅に錆びてボロボロになった赤い三輪車がありました。時間が止まったような何とも言えない気持ちになりました。



復興とコミュニティの復活



2. 福島県富岡町 視察及び勉強会

「富岡町3・11を語る会」代表の青木淑子さんと視察及びお話を聞くことができました。熱いお話を聞くことができ感動しました。青木淑子さんは実は元県立富岡高校の校長先生でありました。10年が過ぎても今なお、バリケードが設置され10年前のまま残されている廃墟と化した富岡町を視察し脱原発にさらに強い決意を持ちました。私自身、福島県富岡町に行くのは2回目で、何度も足を運ぶべき地域だと感じました。

県政のこと 大河原町 村田町 柴田町 川崎町 の課題に取り組みます！

皆さまの声を県政に届けます。皆さまの声を聞かせてください。

[報告者]

みやぎ県民の声 **ます和也**

[所属委員会]

農林水産委員会 / 議会運営委員会 / 再生可能エネルギー・脱炭素対策調査特別委員会

〒989-1224

宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字川根 239-3

Tel : 0224-52-3463

Fax : 0224-52-3463

URL : <https://www.masu-kazuya.jp>

Email : info@masu-kazuya.jp



facebookへ



homepageへ